

『専攻科』の紹介

鹿児島水産高等学校

1. 「専攻科」って、何ですか？

高校を卒業した生徒を対象に、更に高度な「専門的な学習や資格の取得」を目的として高校内に設けられる課程を専攻科といます。学習内容は、資格取得に必要な専門科目の授業がほとんどで、修業年数は2年間です。

2. 「専攻科」がある高校は？

鹿児島県内の公立高校では、野田女子高校（看護師の資格を得る衛生看護科）と、鹿児島水産高校の2校です。

3. 「専攻科」へ進学する目的は？

専門性を必要とする職場では、採用に「国家試験」などの資格取得を条件にしているところ（官庁や会社）があります。そのような職場へ就職するために必要な資格を取得することが専攻科の最大の目的です。

4. 「専攻科」には、どんな学科がありますか？

鹿児島水産高校の専攻科は、「海洋技術科」「機関技術科」「情報通信科」の3学科があり、「海洋技術科」は船舶の航海士や船長、「機関技術科」は船舶の機関士や機関長、「情報通信科」は陸上や海上の通信技術者を目指します。

5. 「専攻科」に入学するには？

入学試験（1月下旬に試験，2月初旬に合格発表）があり、試験科目は、数学・英語と専門教科です。

鹿児島水産高校の専攻科へは、本校の海洋科の海洋技術コース・機関コースと、情報通信科の卒業生が専攻科に進学しています。

6. 「専攻科」の募集定員は？

「海洋技術科」は（7名）、「機関技術科」は（8名）、「情報通信科」は（15名）で、専攻科3学科で計30名の募集定員です。（約2人に1人は専攻科へ進学してます）

7. 「専攻科」の学校生活は？

専攻科生として、各自の自覚に任せられる点もありますが、高校内に設置されていますので、登校日や授業時間など、学校生活のほとんどが高校と同じです。

8. 「専攻科」の入学金や授業料・諸会費など、年間の納入金は？

高校生と同じです。今年は入学金（5,650円）、授業・諸会費（年間118,840円）でしたらなみに、今年3月に本校を卒業して、大学や専門学校に進学した生徒の状況は、

国立大学は年間約80万円

私立大学は年間90万～150万円

専門学校は年間85万～150万円



専攻科は年間約13万円

9. 「専攻科」では、どんな資格がとれますか？

「海洋技術科」と「機関技術科」は、3級海技士（航海又は機関）が認定され、更に1・2級海技士の取得に取り組んでいます。

「情報通信科」は、2級総合無線通信士や2級陸上無線技術士などが科目免除認定され、更に、1・2級の総合無線通信士や陸上無線技術士に取り組んでいます。

※以上のような大学卒業レベルの資格を短期間で取得できるのも専攻科の特長です

10. 「専攻科」の、今年(平成20年3月)の卒業生の進路先は？

【公務員】 ・国土交通省航空局（5名） ・近畿管区警察局（1名） ・海上自衛隊（1名）
・大分県庁災害危機管理課（1名） ・県立学校実習船（1名）

【船 舶】 ・マルエーフェリー(株)奄美・沖縄航路（4名） ・阪九フェリー(株)（1名）
・マリックスライン(株)沖縄航路フェリー（2名） ・鶴丸海運(株)（1名）
・新日本石油マリンサービス(株)喜入石油基地（2名）

【通信系】 ・宇宙技術開発(株)（4名） ・漁業無線局（1名） ・ANAコミュニケーションズ(株)（1名）